

## 黒部溪谷 下ノ廊下

2014年10月19日(月)～20日(火)

メンバー：高木Y

---

年に1～2ヶ月だけ開通する登山道の下ノ廊下。

天候や仕事や開通時期など、色々予定を合わせる事が難しくなかなか行く事ができなかったのだがようやく行く事ができた。

10月19日（日） 晴れ

扇沢駅発のトロリーバスの始発はすでに1時間遅くなり7時半発であったため、始発に乗り歩き始める登山者は少なく感じた。

6時50分からチケット販売だったがたいした行列もなく、トロリーバスも余裕で座れて快適だった。



黒部ダムからは黒部川沿いを歩く。紅葉が見頃でなかなか足が進まないが登山者も10パーティー程度で自分のペースでのんびり歩けた。スタートを日曜日にして正解だった。内蔵助谷出合を過ぎると下ノ廊下が始まる。



残雪がある所には高巻き梯子が設置されていた。(2カ所)



こんな断崖絶壁に道を作るとはすごい。



これでもか！というほどワイヤーロープを張ってくれてあるので危険とを感じる所はなかった。自己ビレイをしながら歩いている人も見かけたが高所恐怖症でなければ問題ないだろう。



ロープは2カ所あったがなしでも登れる。ヘルメットの着用率は高かった。落石の心配というよりも、下ばかり見ていると岩や木で頭をぶつけるのであった方がいいかと思う。大ハツリの辺りから前日に黒部ダムまで入り、ロジックろよん泊で早朝スタートしたパーティーに追いつき始める。年齢層も高く速度も遅いので追い越すのが大変だった。すれ違いもままならないこのようなルートで17人パーティーが連なって歩いているのには閉口した・・・せめてパーティーを分けて歩く事はできないのだろうか？（後から聞いた所によるとCT+ 4時間かかったそうだ・・・）



十字峡。劔沢と交差して珍しい形である。



S字峡



吊り橋は2カ所あったが揺れもなく楽しかった。写真を撮ってくださったオジさまがダム関係者だったらしく、ダムの歴史など色々教えてくれた。仙人谷ダムまで一緒に歩いて、中も少し見せて貰った。



仙人谷ダム



ダムの中を突っ切る。(通常ルート)



下ノ廊下ルートはスタートから幕営地までトイレがない。隠れてするような場所も殆どないのが問題なのだが、オジさまのご好意でダム関係者用のトイレを貸して頂けた。



関係者宿舎でビールまで頂いてしまった！

まだ1時間歩くというのに誘惑に負けて一気に飲み（笑）

ここでオジさまと別れ、この日唯一の急登にさしかかるが全く足が上がらない。汗が吹き出て息も上がる。

急登を何とか越えると少しフラフラしてきた。下りはもうへろへろでようやく阿曾原温泉小屋に着く。

小屋番さんに「ふらついてませんか？大丈夫？」と心配されてしまった。

山行中にビールを飲んではいけません・・・



秘境の温泉へ

温泉は男女1時間交代で夜は混浴のようだ。囲いも着替える場所もなく、スノコが置いてあるのでその上で着替えるしかない野性味溢れる温泉だった。

芋洗いのように混雑していたがサラッとしたいいお湯で満足だ。

日曜日だというのに小屋は予約で一杯で予約外の方は食堂で寝る事になるそうだ。テン場はまだ余裕があった。（前日の土曜日はテント場も100人以上の混雑だったそうだが）

<タイム>

扇沢駅（7:30）～（7:45）黒部ダム（8:00）～内蔵助谷出合（8:48）～十字峡（12:58）～

(13:50)仙人谷ダム(14:20)～(15:10)阿曾原温泉小屋

10月20日（月） 曇りのち雨

天候が昼から崩れる予報であったので暗いうちから出発する事にした。  
小屋から一旦登りがあるが、あとは水平歩道が始まる。



こんなに水平に作るとはすごいなあ



滝があったり



ヘッドランプが必要な150mのトンネルがあったり





高い所は平気なのでサクサク歩いて楽しい

朝から雨が降ったり止んだりだったが、あと1時間という所で大雨に降られてしまった。この時点では危ない場所は終わっていたので一安心。カッパも着て檜平に到着すると更に雨脚が強くなった。ギリギリセーフという感じ。



トロッコに乗って宇奈月温泉へ



大雨の中、追加料金のないオープン席（窓がない、というか壁もない）に乗る。  
他の席は満席だったので次の電車を待つのが面倒で、既に濡れているしもういや、と思って乗る事にしたのだが、ここには下ノ廊下帰りの登山者（しかもテント泊装備の人のみ）だけしか乗ってなくて皆で寒い寒いと盛り上がりながら1時間半のトロッコ旅で締めくくった。  
紅葉も見頃で週末を避けた事で大渋滞にも合わず、怖いと思う所も危ない所も特になく、本当に楽しく歩いて大満足であった。

<タイム>

テント場(5:50)～水平歩道～(10:13)榎平駅(10:43)～(12:02)宇奈月温泉駅

以上